

● 平成30年度に実施した自校の学力調査結果 (単位:%) 平成30年 7月20日
墨田区立立花吾嬬の森小学校

教科	観 点	墨田区学習状況調査										全国学力・学習状況調査	
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		6年A	6年B
		目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率	本校平均 正答率
国語	国語への 関心・意欲・態度	73.8	81.4 77.0	68.1	62.0 68.6	66.9	65.3 66.8	61.9	65.7 62.3	66.9	60.6 69.5		22.4 33.2
	話す・聞く能力	68.0	75.2 71.3	77.1	77.2 80.8	67.0	70.1 67.0	60.0	61.3 60.3	64.4	56.8 64.3	85.9	57.3 64.6
	書く能力	76.9	84.8 79.4	59.5	50.3 58.0	62.7	55.6 62.6	56.0	63.5 57.4	64.1	58.1 68.5	70.3	37.2 45.6
	読む能力	66.1	68.2 69.0	63.6	62.6 63.8	65.0	69.8 64.5	71.6	73.3 74.9	69.4	67.6 74.0	67.2	38.3 50.8
	言語についての 知識・理解・技能	90.0	96.8 94.6	81.4	78.4 84.3	71.0	73.9 73.8	70.4	79.7 76.4	64.4	61.4 69.0	63.1	
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度					58.9	62.3 59.0	60.6	65.8 64.1	59.0	53.0 61.4		
	社会的な 思考・判断・表現					62.4	64.6 62.4	56.9	60.0 59.1	60.7	53.2 62.7		
	観察・資料活用 の技能					68.9	70.3 68.5	60.5	61.8 60.1	64.5	56.2 64.0		
	社会的事象につい ての知識・理解					68.8	70.5 68.5	63.2	66.7 62.9	63.6	52.4 63.1		
算数	算数への 関心・意欲・態度	71.1	72.5 70.4	61.0	59.4 63.3	72.5	74.6 71.4	57.5	61.6 51.0	40.0	21.9 32.2		
	数学的な考え方	68.4	70.2 67.8	67.2	61.8 65.5	64.4	69.1 66.5	61.1	63.5 57.5	56.8	45.2 53.0		43.1 49.2
	数量や図形に ついての技能	81.0	88.6 85.0	79.3	81.3 80.5	77.6	80.9 79.8	68.6	69.6 66.1	68.2	62.1 69.9	56.3	
	数量や図形につい ての知識・理解	83.2	88.6 84.7	71.1	69.1 70.8	74.7	77.5 74.7	66.9	66.8 64.4	71.3	63.9 72.7	60.1	68.8 71.7
理科	自然事象への 関心・意欲・態度					76.3	82.9 81.0	70.5	65.2 72.7	60.7	50.7 62.0	84.4	82.1
	科学的な 思考・表現					61.3	64.9 64.0	63.6	65.0 66.0	64.0	56.3 68.6	49.5	54.1
	観察・実験の技能					80.5	83.9 85.9	70.5	66.8 75.5	68.7	51.6 72.5	76.6	71.1
	自然事象につい ての知識・理解					70.7	76.5 73.4	71.3	67.3 73.9	68.7	58.3 70.9	76.6	81.5

※全国学力・
学習状況調査
の結果につい
ては、9月末
頃までに公表
する予定です。

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したもの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。
- 2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0、5として換算している。

全国学力・学習状況調査の理科については、A（知識）とB（活用）を一体的に問う調査を実施した。

● 自校における調査結果の分析

<p>◇よい点 国語、第2・4・5学年においては、ほぼ全項目で目標値を上回ることができた。これは、国語での少人数指導や放課後補習、家庭学習での取組の効果が表れているものと思われる。また、学年によってばらつきはあるものの、長期休業語の全校漢字計算テストの取組の成果として、「言語についての知識・理解・技能」の観点において、目標値を上回っていた。</p> <p>算数、ほとんど学年において、ほぼ全項目が目標値を上回ることができた。</p> <p>◆課題 理科、第5・6学年、全般的に目標値を下回ってしまった。「問題解決型学習」に取り組むとともに、「基本的知識」の定着に日常から取り組んでいく。 第6学年、全教科・全観点において目標値を下回った。各教科の関心・意欲・態度が低下していることが気になるところである。学んで楽しい、また、達成感のあるような授業展開改善に努めていきたい。</p> <p>◎改善の方向性 理科、社会においては、「東京ベーシックドリル」「ふりかえりシート」を活用し、基礎知識の定着に取り組んで行く。</p>

※ 今後、調査結果の詳細な分析を行い、「学力向上を図るための全体計画」（学校としての学力向上プラン）を9月末までに公表する予定です。